

ここでは明治の巡察使が本県について報告（復命）している部分を抄録している。
明治 15 年は参事院安場保和が明治 16 年は元老院議官渡辺清が担当している。

資料 . 明治十五年巡回使復命

(1) 福井県管下巡回済ノ概況上申（明治十五年）

本月十四日附ヲ以テ福井県下敦賀港ヨリ岐阜県下巡回済ノ義及開申侯末若狭国遠敷郡小浜地方ニ巡回シ再ヒ敦賀港ヲ経テ越前国福井ニ着吏ヨリ同国大野郡大野勝山ヲ経テ坂井郡坂井港ニ巡回去ル廿三日ヲ以テ石川県下加賀国ニ移ル而シテ福井県下各地方ノ民情ヲ視察スルニ現行法律規則ニ関シ或ハ行政処分等ニ付キ人民ノ趨向ニ背馳モノアルヲ聞知セス一般民心ハ静謐ニ有之候得共若狭國小浜辺ニ於テハ所轄復旧ヲ熱心スル者有之既ニ県會議員ノ内若狭地方ノ者巡回先ヘ出頭シ土地ノ便否人情ノ異同若越兩國經濟上ノ得失等系縷々陳述ノ次第モ有之候得共歸スル処ハ小得失ニ止リ地方全体ノ大利害関スルモノアルヲ見ス既ニ敦賀近傍ノ人民ハ最早復旧ノ利ナキヲ覚悟侯者有之候ニ付此際地方官ニ於テ多少注意致シ候得ハ追々苦情モ消滅スヘシト信認致シ候越前坂井郡辺ニ至テハ地租改正ニ付民間ニ苦情有之為メニ改組未夕整頓ノ場合ニ不至然レトモ右処分方ニ付テハ地方官ノ見込モ有之既ニ其筋ヘ稟議ニモ相成居候趣ニ付見聞ノ次第ハ追テ帰京ノ上上申スル処アラントス依テ該県下巡回済ノ概略一応上申致置侯也

石川県下金沢巡回先 参事院 安場保和

(2) 東海北陸ノ内十県事情・士族授産ノ概況（抄）

福井県下士族ハ近来大ニ奮起スル処アルニヤ協心結社シテ事ヲ起シ其生活ヲ裕セソト謀ルモノ不尠既ニ福井士族ノ如キハ結社シテ營業スルモノヲ挙クレハ交同社活版及牛乳ヲ以テ營業トスルアリ第九十一九十二国立銀行ヲ立ツル者アリ盛協社ト称シ私立銀行ノ業ヲ営又ハ織工社ト唱ヘ蝙蝠傘地織ヲ業トシ桑蚕会社ト唱ヘ開墾養蚕等ノ事業ニ従事シ既ニ官金貸与ノ分一万五千元ト株募集金六千五百円ヲ以テ資本ニ充ツ旧鯖江士族ニハ盈進社ト称シ金錢貸付ヲ業トス開墾社開拓養蚕畜牛ヲ業トス官金式千五百円ト募集金千廿三元余ヲ以テ資本トス盈進分社ニ於テハ養蚕製糠ヲ業トス丸岡士族ハ私金三万円ノ資本ヲ以テ丸岡銀行ヲ設立シ尚一万二千五百円ノ私金ヲ募リテ洪盛社ト称スル金貸会社ヲ開ク此他大野勝山武生若州小浜士族等各々團結シテ結社スルモノアリ勝山ニ製糸会社資金二万五千元ヲ以テ器械取ノ製糸ヲナシ養蚕会社ノ如キハ官金千円貸与ノ分ト式千円ノ募集金ヲ合セ開墾養蚕ノ事業ニ着手ス大野ニハ良休社協力社アリテ金貸ノ業ヲ営ミ桑園社ハ開墾養蚕ノ業ニ従事ス小浜ニハ資本金三万円ヲ募集シテ第廿五国立銀行ヲ開キ及製糸社アリテ座繰製糸ヲナシ又ハ若狭塗会社ヲ立若狭塗ノ漆器製造ノ事業ニ従事スル等各地競テ其業ニ勉勵ス故ニ士族ノ生活上ニ於テ素リ困苦ヲ免レト雖又以必至切迫ノ態ヲ見ル稀ナリ

(1) 巡察使渡辺清復命報告(抄)

報告は第一.状況一斑から第二十四.法律規則の実施状況と多岐にわたるが、ここでは産業関係部分のみ抜粋掲載している。

第三.士族

士族ノ状況亦一ナラス乃チ類ニ依リテ列記スル左ノコトシ

一福井及武生ノ士族八元来怜例ニシテ較々經濟ノ道ヲ知レリ故ニ未タ嘗テ生活ノ路ニ窮セス公債証書ノ如キモ概ネ依然トシテ之ヲ所有スト云又其商業ヲ営ムヤ機ヲ視テ變ニ応シ曾テ甚シキ損失ヲ被ラス平素売買ノ体裁其個ノ商賈ニ異ナラスト聞ク

一鯖江及勝山ノ士族八大ニ困弊ノ状アリ蓋シ此ニ藩ノ如キハ福井及武生等ノ士族ガ金錢ニ汲々タルヲ見テ卑劣ナリト嘲笑シタル程ナレハ曾テ經濟ノ事ヲ知ラス生計ヲ為スニ於テ頗ル迂濶ナリトス但勝山ノ士族中ニ八製糸場ヲ開設シテ營業スル者アリ其永續スルヤ否未タ証スル能ハサルナリ一 大野ノ士族八大概請フテ旧主土井家ノ雇夫ト為リ従来同家ノ開設セル東京大坂神戸北海道其他各地ノ商店ニ役セラル又或ハ共同合資鉱製煉所ヲ設ケ其利益ヲ以テ糊口スル者アリ要スルニ未タ自活ノ位地ニ達セサルモ亦飢寒ノ区ニ彷徨セサルナリ

一 小浜ノ士族八製糸場ヲ開設シ或ハ銀行ヲ開店スル等共同シテ産ヲ興サントカム故ニ富裕ノ者アラサルモ亦甚シキ窮乏者ナシト云

第十.五工業及会社

一工業ハ現時頗ル衰頹ノ色アリ蓋シ去十五年以降需要俄ニ減少シ加フルニ物価日ニ月ニ低下スルカ故ニ昨日購入ノ資料ハ今日之ヲ製造シテ売却スルモ猶資料購入ヲ償フニ足ラス之ヲ約言セハ製造スレハ斯ニ損失アリ況ンヤ需要者ナキヲヤ豈ニ衰頹セサルヲ得ンヤ

一養蚕製糸等ニ従事スルノ会社アルモ其現況一般工業者ト同ク衰廢ニ傾向セサルハアラスト云就中大野郡面谷村ニ一ノ銅山アリ在昔領主土井家ニ於テ幕府ヨリ資金ヲ借受シ開採シタルモ廢藩後之ヲ繼續スルモノナシ江州人民之ヲ聞クヤ暫時二十万円ノ資金ヲ募集シ来テ業ヲ開キシト云今其狀況ヲ通觀スルニ坑夫三百名許製方ハ本邦従来ノ法ヲ用ユ蓋シ西洋器械ヲ設ケトセハ其代価巨額ナルノミナラス之力為メ日々要スル所ノ石炭莫大ニシテ人カヲ用ルニ数倍スルカ故ナリト聞ク其鉱質ハ平均百貫目ヨリ鉱銅六貫目乃至十二貫目ヲ得鉱銅十貫目ヨリ純銀四十匁乃至八十匁ヲ得而シ山相ニ依レハ毎年三十万円許ノ銀銅ヲ採取シテ今ヨリ百年間ハ繼續スヘキ測量ナリト云又其銅質ハ頗ル良美ニシテ諸細工ニ用ヅヘシ

第十六.商業及会社

一商業モ亦萎靡セリ蓋シ金融ノ閉塞ハ納税ノ期ニ於テ痛ク農民ニ感ヲ与ヘ延イテ商業ニ及ヒ工業

二達シタルモノト信ス其故ハ既ニ滋賀県ノ項下ニ詳記シタレハ今茲ニ略ス商業会社ノ況景モ一般商業ニ異ナラスト云

第十七.物産及物価

一物産ハ米穀生糸製茶絹布麻布蚊帳煙草稿苴ヲ以テ其重ナルモノトス維新以降漸ク旺盛ナラントセシモ輒近金融ノ閉塞ニ制セラレ大ニ退歩ノ兆アリ米穀製茶ノ如キ其産額ヲ減セサルモ亦増加ヲ望ム可カラスト云

一物価亦金融ノ閉塞ニ制セラレ第一ニ米価ヲ低下シ延イテ諸般ノ物品ニ及ヘリ而モ一人ノ之ヲ悦ブモノナク皆ナ嗟欺セリト云財政ニ当路スル者深ク注意ス可キナリ

第十八.銀行

国立銀行四私立銀行ニアリ其組織景況一ナラス則チ左ニ列記ス

一第二十五国立銀行ハ若州小浜ニ在リ株金十三万円土族ノ公債証書ヲ以テ組織シタルモノナリ其業務確實ナルヨリ世評高く大ニ信用アリト云

一第五十七国立銀行ハ越前武生ニアリ株金五万円其所有主ハ士民相半ス格別名声ナシ

一第九十一第九十二ノ両国立銀行ハ福井ニアリ九十一ノ株金八五万円九十二ハ二十万円共ニ土族ノ公債証書ヲ以テ組織シタルモノナリ其業務堅固ニシテ世ノ信用厚シト云

一武生ニ私立銀行一アリ株金十万円去十五年十月ノ創立ニ係ル故ニ其盛衰等未タ事實ニ徴スル能ハスト雖ドモ其株主タル者ハ素ヨリ富裕ニシテ較々名望アリ現時ノ状況ヨリ推測スルニ蓋シ漸ク旺盛ニ至ルヘキナリ

一丸岡ニ亦私立銀行一アリ株金三万円資本薄弱ニシテ業ヲ張ル能ハサルカ為メカ更ニ聞ク所アラズ然レドモ破産閉店ノ患モ亦ナカルヘシト云

第十九.金融

一民間ノ金融漸ク閉塞シ土農工商皆困惑セサルハアラス就中細民殊ニ疲弊ヲ被ムルモノノ如シ必竟信用地ヲ払ヒ貸借ノ途杜絶シタルヲ以テ原因ノトセン乎今聞ク所ヲ掲出センニ富者ハ貨幣ヲ庫中ニ蔵メ坐食シテ其原資ヲ減耗スルモ之ヲ他ニ貸与シテ利ヲ殖スルヲ得ス貧者ハ富者ヲシテ安心セシムルニ堪ユヘキ抵当品（公債証書古金銀類）ヲ有セサレハ之ヲ借出スニ由ナシ即チ富者ハ供給ヲ欲シ貧者ハ需要ヲ欲スルモ之ヲ行フ能ハサルナリ故ニ日貸借ノ途杜絶シタリト

四民皆金融閉塞ノ弊ヲ被ムラサルナシト雖ドモ地租ノ納期ニ迫ル毎ニ米価殊ニ下落スルヲ以テ農家一層ノ困惑ヲ極ムルアリト云蓋シ農家ニ於テ最モ貴重スル土地モ輒近戸長其人ヲ得サルト三百代言ノ黠智ヲ逞フスルトニ依リ完全ナル土地抵当ノ証書ニシテ往々債主ヲ害スルアルヲ以テ今ハ幾町歩ノ土地ヲ抵当ニシ如何ナル完全ノ証書ヲ出スモ容易ニ富者ノ満足ヲ買フ能ハス故ニ人民ハ米価ノ下落ハ一時ノ変ニシテ決シテ持久ノ價格ニ非ルヲ知ルモ地租ノ納期目下ニ迫ルヲ以テ売却スルノ外ナシト云